

豊春地域学校規模適正化地域説明会 質疑応答

開催年月日	令和8年8月1日（土）
開始・終了時間	午前10時00分 ～ 午前11時25分
開催場所	宮川小学校 体育館
配布資料	説明会スライド資料
参加者数	51名
事務局出席者	飯口学校教育部長、佐山学務指導担当部長 内藤学校教育部次長(兼)施設課長 鶴見学務指導担当次長(兼)指導課長 【教育総務課】石川課長、伏谷主幹、藤原主査、細木主任、 岸主事 【学務課】森田課長
質問	<u>統合について</u> Q-1 令和11年4月に開校というのは、どのくらいの確度で決まっていることなのか、まだ検討の余地があるのか、もう1年延ばすかもしれないのか。そういったところを教えてください。 A-1 地域からの具申書を踏まえ、市としても令和11年4月の開校を目標に取り組を進めている。今年度末頃になるが学校規模適正化計画を策定し、最終的な決定となる。
質問	<u>こどもへのケアについて</u> Q-1 宮川小にこどもが通っていて、宮川小の人数が少ないため、もし豊春小へ統合したら、慣れない校舎となる。さらに、中学生になったら新しく人が増えて不安にはなるが、それがもう小学生のうちに起きることになる。その辺のケアについてはどうするのか。 また、統合した際のクラスについて、宮川小の子で1クラスとなるのか、それとも最初から豊春小の子と混合してクラス分けになるのか。 A-1 学級編制について、資料25ページをご覧ください。今後、準備委員会というものが立ち上がる。開校に向けた検討ということで、ここで検討が行われる。
指導課長	

	また、こどものケアについては、どちらの小学校へ統合するにしても、先生方については、どちらか一方の小学校の先生ということではなくて、宮川小の先生と豊春小の先生が混在するような形でケアをしていきたい。
質 問	Q-2 こどもが3年生と1年生で宮川小学校に通っている保護者だが、統合した場合、こどものメンタル面が心配。そういったところのフォローがどれほどなされるのか。
指 導 課 長	A-2 先生方については、どちらに行っても知ってる先生がいるというところは、メンタルフォローの1つであると思う。また、クラス編成について、両校の校長先生をはじめ、各担任の先生とも最大限配慮しながら、こどもたちにとってよりよい学校生活となるような形でケアしていけたらと考えている。
質 問	Q-3 統合後、ないとは思いますが、人数が多い少ないというところから、いじめの問題。これは全国的に考えられることだが、特に統合した場合に、そういう問題に直面することが考えられる。学校にケアをする人を配置するだとか、そういう配慮は考えているのか。
指 導 課 長	A-3 まず、いじめについては、今おっしゃっていただいたとおり全国的な問題だと思っている。いじめが起こることを想定して、多くの配置というところは現在考えていないが、まず事例が起こらないような形になるように、先生方に見ていただいている。また、市内のどの学校も、いじめを発見後、ほぼ100%解消しているという現状がある。 その中で、心配というところもあるかと思うので、統合の前に、事前に交流の場を設けながら、人間関係の構築を図っていく機会を考えている。
質 問	Q-4 いじめられても言えない子もいると思う。交流すると言っても、その和に入れない子もいる。最初からそういうことを想定して、ケアできるような体制を作っておくべきだと思う。何か起きてからやろうっていう体制が、特に公務員や大手の企業関係には多い。何かが起こってからでは遅い。そういう部分を考えて、対策しておくということは全然ないということか。
指 導 課 長	A-4 説明不足で申し分けないが、準備委員会も含め、有利な配置の仕方とか、必ず配置しないということではなく、検討させていただく。もう1つは、いじめについて確実にないとは言えない、それもその通りだと思う。現段階でも定期的アンケート、もしくは相談窓口も多くあるので、こどもたちの声を拾うようにしている。

意見 意見	アンケートについて ・アンケート結果のところで、人数が少ないからとか、人数が多いから何とかは、このアンケートはあやしいと思う。 ・娘が宮川小学校に通っており、私自身も宮川小学校の出身。今日この場に来るにあたって、小学校2年生の娘と話をしたが、「クラスの子は、一緒になるの嫌だって言ってる子がいたよ。」と話をしていた。今回、アンケートを5・6年生にとっていただいたと思う。おそらく高学年になると、思いや考えを適切に表現できるためかと思うが、下の学年の子たちも、色々な意見を持っているので、適切にその場にいるこどもたちや先生方、保護者の意見を吸い上げていただきたい。おそらくこのアンケート結果を見ると、いくつか選択肢を提示した上で、自分の気持ちに当てはまるものを回答する方法だが、自由形式にして、率直な気持ちを記載できるような方法も検討していただきたい。 また、地域のアンケートにおいても、自治会の運営等に関わっている方は、豊春小出身の方がおそらく95%以上いると思われる。なので、どうしても経験値として豊春小ありきのようになってしまうと思う。もう少し広く意見を吸い上げていただきたい。
質問 学務課長 質問	通学について Q-1 資料の通学距離のところで、資料のBから宮川小や豊春小に行くとき、開智中学校とかに多少の山があるため、直線距離でBからは1.8kmとあるが、こどもには意外と負荷がかかる。 また、Dの方は、失礼な話だが、これからものすごく人が増えるような場所ではないと思うので、通学距離が遠いという証明にはならないと思う。そういうところは検討しているのか。 A-1 学校が中心となり、地域・PTAの皆様と、これから始まる準備委員会の方で、こどもたちが安全に登校できるよう協議していく。 Q-2 こどもが幼稚園に通っていた時、以前から統合の話が出ていたので、現実的になるかわからなかったが、統合した場合に、こどもへのダメージが少ない、友達が多い方の学校に行ければということで教育委員会へ相談させていただいた。3年前にその相談をした際は、特に統合の話が現実化するという説明もなく、単純に学区の関係で無理ですという話で終わってしまった。そのときに、仮にだが、こういう統合の計画が

学 務 課 長 質 問	現実的に5年以内にあるとか、そういう話が事前にあれば、うちも何か考えたかもしれない。例えば今、1年生で入ったお子さんの保護者や小学校が近いから近くに家を建てた方とかもいると思う。そういったところをどう考えているのかお伺いしたい。 A-2 当時は、学校規模適正化について具体的な話はまだなかったため、学区内の小学校をご案内させていただいた。 Q-3 実際に宮川小学校区から豊春小学校へ通っている子は何人いるのか。
学 務 課 長 意 見 質 問	A-3 人数について、把握していない。ただ、転居等の理由で、指定校変更という形で、宮川小学校区から豊春小学校へ通うことができる場合がある。 ・実際に、宮川小学校区から豊春小へ通っている子はいる。豊春小学校としては、人数は把握していると思う。そういう子もいるため、実際の宮川小学校区の人数は多いと思う。そういった人数も把握してほしい。 Q-4 宮川小学校に、3年生と1年生を通わせている。今の3年生は、合併する令和11年には小学校6年生になり、最後の1年だけ合併することになる。こどもにも聞いてみたところ、「最後の1年だけそうなるならば、事前にもう転校したい。」と言っていた。実際に来年には転校したいという意見は、どう取り扱っていただけるのか。 A-4 現時点で、希望者について、先行で転校を受け付けることについては、教育環境の確保の観点から考えていない。統合までの準備段階において、交流の場を設け、こどもたちがスムーズに学校生活を送れるよう進めていきたい。
学 務 課 長 質 問 教育総務課長	学用品等について Q-1 私はこどもが宮川小に通っているが、令和11年に統合する方向で、細かいことはこれから決めていくということは理解したが、宮川小と豊春小で、学用品や体操服などはどの程度違うのか。 今後、同じデザインにするのかという話になった時、それに対して意見を言う機会はあるのか。 A-1 学用品の関係について、この後、準備委員会を来年度以降に立ち上げ、そこで運用について保護者の方や地域の方にご意見をいただきながら検討を進めていく形になると思う。 過去の事例だと、江戸川小中学校を開校した時、途中から一緒になったお子さんたちはそれぞれの学校の体操着とかを卒業まで使っていただく、新しく入ってくるお子さんについ

指 導 課 長	ては、新しい学校で決まった体操着や、中学校もあるため中学校の制服を買っていただいたという経過がある。
質 問	また、どのくらいデザインが違うのかというところについては、現段階では正確に把握できていない。基本的な授業で使うものについては共通のものを使っている。
教育総務課長	Q-2 体操服等は、補助金であつたり、支給していただいたり、対応していただけるのか。
教育総務課主幹	A-2 統合後、バラバラの体操服等が1つの学校内に存在してしまうというところもあるが、この後の準備委員会で検討をしていく。前回の江戸川小中学校の開校のときも、やはり保護者の方の経済的負担をなるべく抑えるという意味で、そういった継続期間というのが生まれたと聞いている。今回、新たにこういった形で検討を進めるのか、我々としても、なるべく保護者の方の経済的負担は少なくしていきたいと考えているので、そういった点も踏まえ、検討を行う。
質 問	新たに入学する子については、新しい学校の体操服等を使用していただく。小学校2年生以上は、こどもが成長し、体操服等を買換えるタイミングで新しく統合した後の体操服等を購入していただく想定。成長するタイミングは、人それぞれのため、前の学校の体操服等を継続して使用できるようにしている。
質 問	放課後児童クラブについて Q-1 宮川小学校の放課後児童クラブを利用している。現状は、空きが常にある状態だが、統合して人数が増えた場合、入りにくくなったりするのか。
教育総務課長	A-1 放課後児童クラブについては、所管が市長部局のこども未来部になり、そちらとも常に情報共有している。また、具申書の内容の中にも放課後児童クラブの拡充、統合したことによって、今まで入れた方が入れなくなるのでは困るというところはいただいているので、拡充できるような形を関係部署と協議していく。
意 見	・豊春小は、4年生以上はなかなか入りづらいということを聞いているが、宮川小は、6年生まで空きがある状態。統合したことで入れなくなることがないよう、きちんとした受け入れができる体制をとってほしい。
質 問	その他 Q-1 こどもが宮川小へ通っている保護者だが、統廃合に向けたプロセスについて、不思議というか勝手に進んでいるのではと思っている。具申書を出すにあたって行われた会議である豊

春のこどもたちの未来を考える会について、構成メンバーの中に当事者はどの程度いるのか。PTAの代表の方や保護者もいるが、豊春地域のこどもたちの未来に関心がある方に広く聞いて集められた人選ではないため、そのメンバーの人選でよかったのか。今の現状をきちんと捉えられているのだろうかという疑問がある。

その中で、豊春小・宮川小の5・6年生に実施したアンケートについて、今の人数は少ないと思うか、多いと思うかという質問に対し、宮川小の児童は少ないと思うと回答している。これは、客観的事実として少ないと回答したに過ぎず、人数が少ないことで困っている、学校生活に問題があるという声の吸い上げにはなっていない。今、宮川小へ通わせていて、4年生のこどもは1クラス19人だが、すごく仲が良く、とてもいい環境で勉強ができているという実感をもっている。今回の統合に向けての内容で疑問視するならば、1学年に2クラスあるのが適正というのであれば、1クラスが何人になるのかは統廃合の中で協議する点ではないと思う。

質問だが、豊春小に宮川小の子が行った時に1クラスあたり何人になるのか。今の宮川小の人数規模と豊春小の人数規模が今より膨れ上がるのであれば、それは1人の先生が見るこどもの数が増えるという点で、1人1人に目が行き渡らない。それが学習環境としていいことなのか重要な点になる。

それと、アンケートのとり方がとても恣意的だと思う。質問で、人数が少ないからどう思うかという質問そのものが、もう答えを導こうという風に感じる。それを根拠にして、統廃合にこどもたちが前向きであるというふうに結論づけるのは、こどもたちの意見を吸い上げる方法としていいのか、すごく疑問がある。

中一の壁があることが可能性としてあるという説明だったが、現在、豊春中学校にあがった宮川小学校のこどもに起こっていることなのか。

その点が、どのようにデータがとられて、中一の壁というものが存在すると言えるのか。

最後に、1学年1クラスしかないため、切磋琢磨するチャンスがないと資料で出てくるが、宮川小へ通わせている実感として、それをどうやって乗り越えていくのかという工夫を重ねてきた学校だと認識している。毎日一緒に掃除をしたり、上級生が下級生の面倒を見て、縦割りの活動ということがすごく充実している。これは、小規模校、1クラスの人数が少

指導課長 質問	ないからこそ、丁寧に勉強もみてもらえるので、そういうところにも目を向けてもらいたい。 あと、豊春小の子が宮川小に半分来て、両方の学校を存続するとか、そういうアイデアとかがそもそも検討の1つに入っていない。もう基本的に、豊春小に宮川小をいれるという形でしか統合の在り方がされておらず、本当にこれがこどもたちの為になるのか。 質問としては、統合後の1クラスあたりの人数がどうなるのか教えてほしい。 A-1 資料9 ページに記載のとおり、令和11年度の赤枠に入っている数字が想定している統合した時の人数と学級数になっている。単純にこの数字を割っていくと、1クラスの人数になる。 Q-2 資料23 ページの可能性の向上ということで、いいことばかり書いてある。その逆の部分なぜ出さないのか。コミュニケーションの能力向上は嘘ではないか。少人数だからこそコミュニケーションがもっと図れると思う。それから、教育環境の充実も嘘ではないか。少人数制だから環境が良くなるということもある。この環境というのが、ハード的なのかソフト的なのか、そこら辺のことも全然書かれてない。ただ単純に環境が充実しているというのは何をもって充実していると言えるのか分からない。いいことばかりを書いて、だから統合するというような言い方しかない。それと、前の席に、学校教育部の方々と担当の方が並んでいるが、あなた方は宮川小学校に通い、教育を受け、この学校の良さを体験したことがあるのか。宮川小学校の良いところはたくさんあるが、このアンケートではなぜ取り除いているのか。宮川小学校の現状を知りもしないのに、ただ統合するにあたってのメリットをうまく書いてまとめているようにしか思えない。実際にその教育の場でこどもたちと接して体験しないと分からない。携わったことがないのに頭ごなしにこういう風に決めていくこと自体がおかしいと思う。こどもたちや親がやはり中心なわけであって、教育委員会が中心なわけではない。もし統合した場合、いろいろなデメリットがある。メリットはたくさんあると思うが、デメリットをもっと強調してほしい。そのデメリットを、どうやってメリットに変えられるのか、もっと考えてほしい。1つ言えば、私が今花積に住んでいて思うのが、車の多い通りや踏切を通らないといけな。統合した場合、通学路の問題だとかがあるわけで、こういう形で考え
-----------------------	--

教育総務課長 質 問	ていくから大丈夫ですというような説明だったらわかるが、それもない。ただ統合すればメリットがありますよというだけでは納得がいかない。あと、昔の話をするが、私は50年ぐらい前に引っ越してきた際は宮川小がなかったので、豊春小学校へ通学した。山を超えて通学していたため、こどもたちも大変。他にも踏切や道路の問題があったので、東岩槻から豊春まで電車を使って通学を推奨していた。今回はそういう議論はないのか。最後に、他の市町村の兼ね合いもあるが、さいたま市の小学校に通う方が近い。さいたま市の小学校へ通う等、そういう事も検討していく必要があるのではないか。皆さんがどういう風に考え、これを取りまとめたのかお聞きしたい。 A-2 まず、今回の説明会の趣旨ですが、この後、豊春小学校と宮川小学校の統合に向けた最終的な決定について、豊春地域学校規模適正化計画というものを今年度中に策定していきたいと考えている。その中で最終的な決定をする予定。その決定をする前に、地域の皆様、保護者の皆様には、こういった方向で市が取組を進めているということを説明させていただくため、今日の説明会を実施した。 今、ご意見にもあった、こどもを中心に考えていただきたいとあったが、こちらについてこれまでも協議会でもご意見をいただいた。その中で、両校の5・6年生にアンケートを行い、人数の多い少ないというだけではなくて、それによって良いところや悪いところを率直にこどもたちがどう考えるのか確認した。 また、デメリットについて、資料7ページで記載した小規模、過小規模のメリット・デメリットは、あくまでも一般的などころでお示ししたものである。ご意見いただいたとおり、デメリットと考えられるところは、今後、市として検討を重ね、少しでもメリットに変えられるような方向に進めていきたいと考えている。 また、通学路について、こちらもこれまでの協議会の中でも、様々ご意見をいただき、通学路上に東武野田線の踏切があり、越えていけないといけませんが、これについて、今後、教育委員会だけではなく、市役所の各関係部局、あとは鉄道会社の方にも要望等を伝え、できる限り安全な形でこどもたちが学校に通学できるように、様々な検討を進めて参りたいと考えている。 Q-3 準備委員会が今後立ち上がると思うが、メンバーの人はど
--------------------------	---

教育総務課長	のようにするのか。 A-3 まだ決定事項ではないが、過去の例から申し上げると、学校運営協議会の委員の方、PTAの代表の方、学校の校長先生、教職員の方からも参画いただいた。今回についても、そういった形で、ご意見等いただくような形を検討している。
質 問	Q-4 来年、宮川小学校へ入学予定。今後決定事項があった場合、このような説明会を改めて設けてもらえるのか。
教育総務課長	A-4 今後の説明会について、具体的にいつ頃実施するのか決まっていないが、この後決定事項等あったら、説明会の機会を設けさせていただきたいと考えている。 また、前回の協議会の際には、協議会ニュースという形で、決まったことや検討していることを発信をさせていただいた。そういった媒体を使い、できるだけ多くの方に情報発信していきたい。
意 見	・ こどもが幼稚園に通っているが、今回の説明会について、幼稚園や地域の自治会の掲示板のところに貼られていたチラシで知ることができた。ホームページに載っていても、自分から見る機会がないので、小学校に進学していない保護者からすると、今後も今回のように幼稚園等にもお知らせしていただけるとありがたい。
質 問	Q-5 すでに市内には、江戸川小中学校が開校しているが、その際にでてきた課題点や反省点等、教育委員会として持っているのか。または、他の自治体の事例としてあるのか教えていただきたい。
教育総務課長	A-5 江戸川小中学校の学校再編のときは、当時は富多小学校、宝珠花小学校、江戸川中学校、この3校が統合するような形となった。ここは、県内初の義務教育学校となっている。その際、やはり地域の方々から事前に協議会等でご意見をいただいた。さらには、富多小学校、宝珠花小学校も、それぞれ当時100年以上の歴史ある学校で、それぞれの地域の伝統文化もあった。そういったものをしっかりと引き継いだ新しい学校にして欲しいというところ。あとは、学校区がかなり広くなったため、小学生が徒歩で通学するのは難しいことから、江戸川小中学校の地域についてはスクールバスを運行している。そういったところが事前の協議会の中でいただいた内容となっている。
質 問	Q-6 以前問い合わせた際、今回の説明会について、議事録を作成しホームページに掲載する予定と聞いているが、そのような認識でよいか。

教育総務課長 意見	A-6 先日の水曜日にも豊春小学校の体育館で開催し、ご意見やご質問をいただいている。今回の説明会も含め、ホームページで掲載をさせていただく。 ・今年度中に学校規模適正化計画が策定され、色々決まるならば、転校を受け入れてもらえるのか等、そういった検討事項についても対応していただきたい。
-------------------------	---